

交付運用報告書

スーパーファンド・グリーン・ゴールド・ジャパン

ケイマン籍 オープンエンド契約型 外国投資信託（円建て）

作成対象期間（第9期）：自 2017年1月1日 至 2017年12月31日

～ 受益者の皆様へ ～

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、オーストリア・ウィーンにて創立されたスーパーファンドグループの、外国籍公募投資信託です。

ケイマン諸島における分別ポートフォリオを運用する適用免除有限責任会社として登録され、投資会社としてのみ活動するマスターファンド及びアンダーライニング・マスターファンドへの投資を通じて、証券市場の動静から独立した投資形態を投資家の皆様に提供するために設立されました。スーパーファンドの投資顧問会社であるスーパーファンド・キャピタル・マネジメント・インクによる、トレーディング・ソフトウェアを使用した最新の取引システムに基づき、マスターファンド及びアンダーライニング・マスターファンドは運用されます。

ここに、当ファンドの第9期の運用状況等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

	第 9 期 末	
	サブファンド A	サブファンド B
1 □ 当 たり 純 資 産 価 額	94.05円	103.35円
純 資 産 総 額	243百万円	286百万円
第 9 期		
騰 落 率	+18.42%	+29.03%
1 □ 当 たり 分 配 金 額	0円	0円

(注1) 純資産総額は、1□当たり純資産価額に、当期末の発行済口数を乗じ、小数点第1位を四捨五入して計算された値を記載しており、運用報告書（全体版）に記載されているファンドの財務書類における数値と一致しない場合があります。

(注2) 騰落率は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算しています。以下同じです。

(注3) 1□当たり分配金額（もしあれば）は、税引前の分配金額を記載しています。以下同じです。

その他記載事項

運用報告書（全体版）は代行協会のウェブサイト（<http://www.superfund.co.jp>）にて電磁的方法により提供しており、「資料ダウンロード」において閲覧及びダウンロードすることができます。

※ 当ファンドの運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

【管理会社】

【代行協会員】

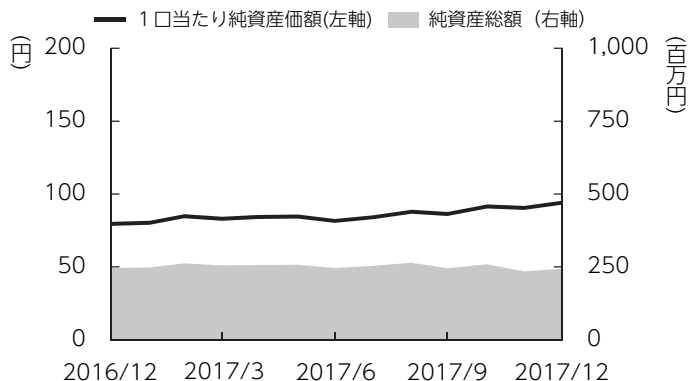
スーパーファンド・ジャパン・
トレーディング（ケイマン）リミテッド

スーパーファンド・ジャパン株式会社

運用経過

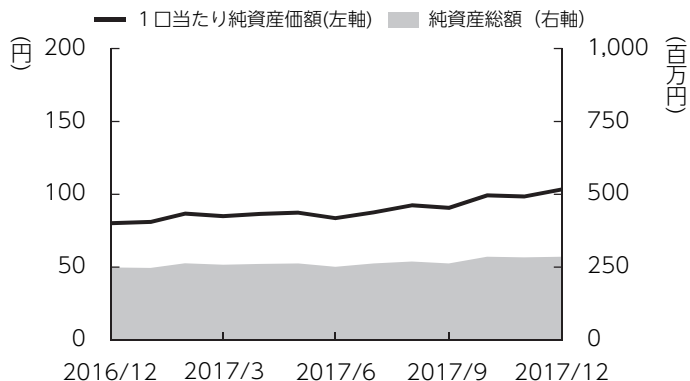
■ 当期の1口当たり純資産価額等の推移について (2017年1月1日～2017年12月31日)

サブファンドA



第 8 期 末 の 1口当たり純資産価額	79.42円
第 9 期 末 の 1口当たり純資産価額 (分配金0円)	94.05円
騰 落 率	+18.42%

サブファンドB



第 8 期 末 の 1口当たり純資産価額	80.10円
第 9 期 末 の 1口当たり純資産価額 (分配金0円)	103.35円
騰 落 率	+29.03%

(注1) 分配金再投資1口当たり純資産価額は、税引前の分配金を分配時にサブファンドへ再投資したとみなして算出したもので、サブファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。但し、当ファンドについては分配金の分配を行っていないため、上表では1口当たり純資産価額のみを記載しています。以下同じです。

(注2) 1口当たり純資産価額は、第8期末の1口当たり純資産価額を起点として計算しています。

(注3) サブファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注4) サブファンドにベンチマークは設定されていません。

(注5) 当ファンドのサブファンドA及びBの各シリーズのうち、運用期間が最も長い当初シリーズの推移を示しています。

■ 1口当たり純資産価額の主な変動要因

実質的に投資している金融先物市場・商品先物市場における市場の変動率の上昇により、当ファンドが採用するトレンドフォロー戦略による取引システムが、様々な指数の上昇・下降トレンドに追随することでキャピタルゲインを確保します。一方、上昇又は下降トレンドに追随した後、市場価格のトレンドが変換することによりキャピタルロスが生まれます。為替が円安に変動することでキャピタルゲインが、円高に変動することでキャピタルロスが生まれます。加えて、円建て金価格の上昇によりキャピタルゲインが、下落によりキャピタルロスが生まれます。

■ 費用の明細

(2017年1月1日～2017年12月31日)

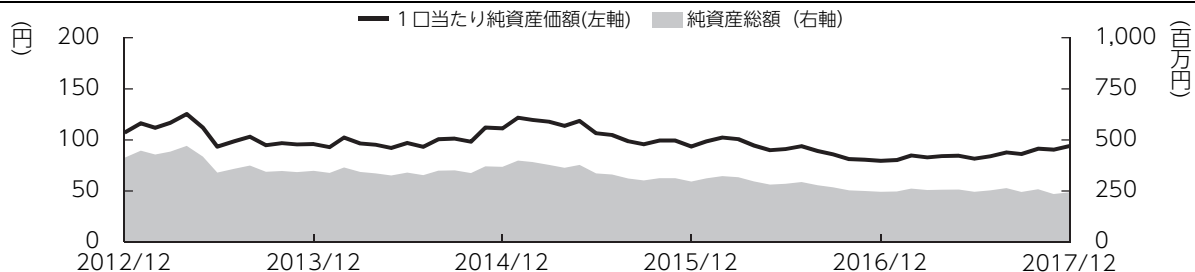
項目		比率又は金額	項目の概要
管理会社報酬		純資産価額の年率0.10%	受託会社、事務管理会社及びカストディアンその他の者との間のやりとり、当ファンドの活動に関連する契約の管理、申込及び償還を含む投資活動の運用管理の対価
代行協会員報酬		純資産価額の年率0.50%	日本の法令及び日本証券業協会の規則に従い、受益者への目論見書や財務書類を送付し、純資産価額を公表する等の業務に対する報酬
受託会社報酬		各サブファンドにつき年間8,500米ドル	信託証書に従って行う当ファンドの受託業務に対する報酬
事務管理報酬	当ファンドの事務管理及び振替代行報酬	各サブファンドにつき年間6,000米ドル	各評価日における純資産価額の計算、受益権者名簿の管理、締結された申込に係る契約及び申込の受領並びに処理、電磁的方法による受益証券の発行証明及び保有報告書の作成並びに送付などの役務の対価
	年次報告書及び監査手配報酬	各サブファンドにつき年間400米ドル	関連する規制に則した年次財務諸表（監査済み）の作成及びその補助の対価
	主たる事務所の提供報酬	年間6,000米ドル	ケイマン諸島ミューチュアル・ファンド法の第4（1）（b）項に規定される、当ファンドの主たる事務所として行為することに対する報酬。事務管理会社の関連会社に支払われる。
その他の費用（当期）		1.46%	監査費用、保管費用、その他信託事務の処理に要する諸費用

(注1) 各報酬については、目論見書に定められている料率又は金額を記しています。「その他の費用（当期）」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、当期のその他の費用の金額を当ファンドの当期末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

(注2) 各項目の費用は、サブファンドが組み入れている投資先ファンドの費用を含みません。

最近5年間の1口当たり純資産価額等の推移について (2012年12月31日～2017年12月31日)

サブファンドA



	第4期末 2012/12/31	第5期末 2013/12/31	第6期末 2014/12/31	第7期末 2015/12/31	第8期末 2016/12/31	第9期末 2017/12/31
1口当たり純資産価額(円)	107.11	95.83	111.29	93.48	79.42	94.05
1口当たり分配金額(円)	0	0	0	0	0	0
騰落率(%)	-	△ 10.53	+16.13	△ 16.00	△ 15.04	+18.42
純資産総額(百万円)	413	349	368	296	246	243

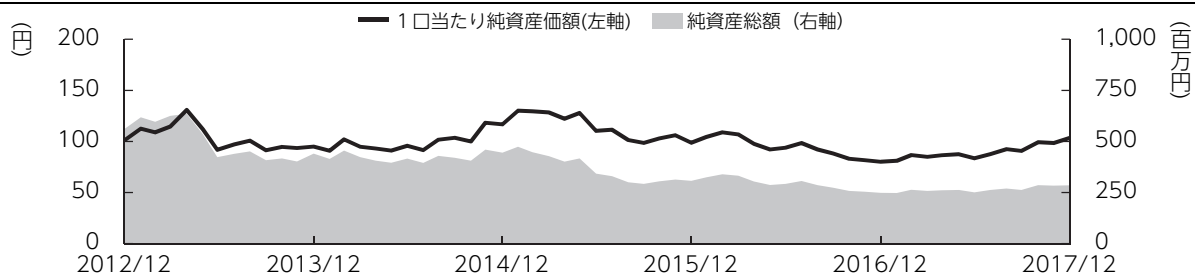
(注1) 1口当たり純資産価額は、第4期末の1口当たり純資産価額を起点として計算しています。但し、当ファンドについては分配金の分配を行っていないため、上表では1口当たり純資産価額のみを記載しています。

(注2) 純資産総額は、1口当たり純資産価額に、各期末の発行済口数を乗じ、小数点第1位を四捨五入して計算された値を記載しており、運用報告書(全体版)に記載されているファンドの財務書類における数値と一致しない場合があります。

(注3) サブファンドにベンチマーク及び参考指数は設定されていません。

(注4) 運用期間が最も長い当初シリーズの推移を示しています。

サブファンドB



	第4期末 2012/12/31	第5期末 2013/12/31	第6期末 2014/12/31	第7期末 2015/12/31	第8期末 2016/12/31	第9期末 2017/12/31
1口当たり純資産価額(円)	101.21	94.88	116.80	98.67	80.10	103.35
1口当たり分配金額(円)	0	0	0	0	0	0
騰落率(%)	-	△ 6.25	+23.10	△ 15.52	△ 18.82	+29.03
純資産総額(百万円)	561	440	445	307	249	286

(注1) 1口当たり純資産価額は、第4期末の1口当たり純資産価額を起点として計算しています。但し、当ファンドについては分配金の分配を行っていないため、上表では1口当たり純資産価額のみを記載しています。

(注2) 純資産総額は、1口当たり純資産価額に、各期末の発行済口数を乗じ、小数点第1位を四捨五入して計算された値を記載しており、運用報告書(全体版)に記載されているファンドの財務書類における数値と一致しない場合があります。

(注3) サブファンドにベンチマーク及び参考指数は設定されていません。

(注4) 運用期間が最も長い当初シリーズの推移を示しています。

■ 投資環境について

当期（2017年1月～2017年12月）における世界経済は、当初先行きが不透明な見通しだった割に、堅調な年であったことが判明しました。英国EU離脱のユーロ圏への影響、中国の成長鈍化、米トランプ大統領の不確実性など懸念材料に事欠かなかった年でした。実際には、米国では、失業率と製造業における強い基礎データが、米国経済が通貨政策の変化に対して熟していることを示すシグナルとなりました。米国GDPは第2四半期と第3四半期において年率3%を上回る成長を示し、連邦準備制度理事会（FRB）は明確な経済状況の進展に基づき3度の利上げを行いました。米国の投資家は堅調な企業業績報告を受け、DJIA、S&P500、NASDAQ指数は過去最高値をつけました。一方、米ドルは10年ぶりの低水準まで下がり、金価格が上昇しました。世界経済全体に渡る成長はFDI（海外直接投資）活動の増加により、発展途上国を含む世界中のほとんどの地域で連動し統合された動きを示すことになりました。当ファンドが採用するマネージドフューチャーズ戦略は、様々な指数の中長期トレンドに追随するトレンドフォロー戦略であるため、株式市場では良好なパフォーマンスを確保し、他のセクターにおいても比較的堅調なパフォーマンスを獲得しました。年初1オンス当たり1,150米ドル前後であった金価格は、9月には1,350米ドルまで上昇しましたが、年末には1,300米ドル前後まで調整し、一年を通して金価格は若干のプラスという結果でした。

■ ポートフォリオについて

< 当ファンド >

サブファンドは、マスターファンドへの投資によって当該マスターファンドと同一の投資目的を追求しました。結果、マスターファンドへの投資比率は、概ね95%以上を維持しました。

< マスターファンド >

マスターファンドは、アンダーライニング・マスターファンドへの投資によって当該アンダーライニング・マスターファンドと同一の投資目的を追求しました。

< アンダーライニング・マスターファンド >

アンダーライニング・マスターファンドは、主に世界各国の取引所に上場されている様々な先物取引等及び金先物に投資しました。トレンドフォロー戦略を採用したマネージドフューチャーズ（グリーン戦略）により、下記7つのセクターに分散投資しました。

【株式指数】 【債券】 【通貨】 【金属】 【穀物】 【農作物】 【エネルギー】

株式市場は、2017年の年間を通して堅調な推移を実現しました。グリーン戦略は、株式市場では大きくプラスの実績を実現した月もあり、他のセクターにおいても比較的良好的なパフォーマンスを獲得しました。また、金価格は、年初1オンス当たり1,150米ドル前後の水準から9月には1,350米ドルまで上昇しましたが、年末には1,300米ドル前後まで調整し、一年を通して金価格は若干のプラスという結果でした。

■ ベンチマークとの差異について

当ファンドにはベンチマーク及び参考指数はありません。

■ 分配金について

当ファンドには分配金はありません。

今後の運用方針

当期終了後の2018年1月1日付で、当ファンドは「スーパーファンド・ジャパン」へ、サブファンドAは「サブファンド グリーンA ゴールド円クラス」、サブファンドBは「サブファンド グリーンB ゴールド円クラス」へと、それぞれ名称を変更しました。また同日付で、「スーパーファンド・ブルー・ジャパン」及び「スーパーファンド・レッド・ジャパン」が当ファンドの新たなサブファンドとして統合され、「スーパーファンド・グリーン・ワン・ジャパン」は当ファンドのサブファンド グリーンBに統合されました。また、2018年7月1日付で、「スーパーファンド・グリーン・ジャパン」が当ファンドに統合されました。当ファンドの今後の運用方針については、それぞれのサブファンドがこれまでの運用方針と同様の戦略によって運用されるマスターファンドへの投資を通じてマスターファンド又はアンダーライニング・マスターファンドと同一の投資目的を追求する予定です。

お知らせ

2018年1月1日付で、当ファンドは「スーパーファンド・ジャパン」へ、サブファンドAは「サブファンド グリーンA ゴールド円クラス」、サブファンドBは「サブファンド グリーンB ゴールド円クラス」へと、それぞれ名称を変更しました。また同日付で、「スーパーファンド・ブルー・ジャパン」及び「スーパーファンド・レッド・ジャパン」が当ファンドの新たなサブファンドとして統合され、「スーパーファンド・グリーン・ワン・ジャパン」は当ファンドのサブファンド グリーンBに統合されました。
また、2018年7月1日付で、「スーパーファンド・グリーン・ジャパン」が当ファンドに統合されました。

当ファンドの概要

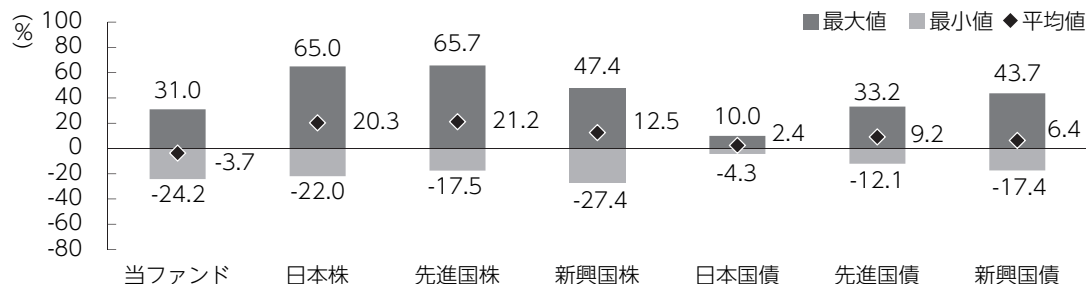
ファンド形態	ケイマン籍 オープンエンド契約型 外国投資信託 (円建て)	
信託期間	信託設定日は2009年6月5日、償還日は設定日から150年後	
運用方針	アンダーライニング・マスターファンド投資顧問会社が随時選定するトレーディング・ソフトウェアを使用したトレーディング・シグナルに基づいて投資活動を行います。 マスターファンド及びアンダーライニング・マスターファンドは、投資機会を活かし、最新のトレーディング戦略を利用する予定であるため、将来の運用について、現時点で既定されたものではなく、またいかなる制限を受けるものでもありません。アンダーライニング・マスターファンド投資顧問会社は、アンダーライニング・マスターファンドが上場先物及び店頭デリバティブ(為替予約を含みます。)の取引においてレバレッジを用いることにより高い収益が見込めると判断したときに、レバレッジを利用することがあります。	
主要投資対象	当ファンド	スーパーファンド・グリーン・ゴールドSPC
	マスターファンド	スーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPC及び現金
	アンダーライニング・マスターファンド	世界各国の取引所に上場されている様々な先物取引(株式指数、債券、通貨、金利、金属、穀物、農作物、エネルギー)への分散投資、及び金先物。
組入制限	当ファンドの2つのサブファンドA及びBの資産は管理会社により運用され、管理会社は各サブファンドの資産のすべてをスーパーファンド・グリーン・ゴールドSPCのシェア(株式)に投資します。	
分配方針	現段階では分配を行う予定はありません。但し、管理会社はその裁量で分配を決定する権利を留保しています。	

(注) 2017年12月31日時点の情報です。

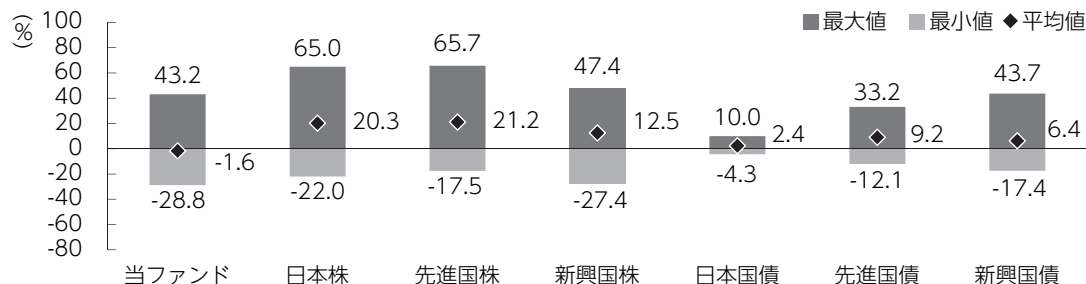
(参考情報)

ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較

サブファンドA



サブファンドB



(注1) 全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2013年1月から2017年12月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値をファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

(注3) ファンドの年間騰落率は、設定から1年未満の時点では算出されません。

(注4) 当ファンドのサブファンドA及びBの各シリーズのうち、運用期間が最も長い当初シリーズについて示しています。

○各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数 (TOPIX) (配当込)

先進国株……MSCI-KOKUSAI指数 (配当込) (円ベース)

新興国株……MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込) (円ベース)

日本国債……JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (日本) (円ベース)

先進国債……JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (除く日本) (円ベース)

新興国債……JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド

※新興国債の指数は、各月末時点の為替レートにより円換算しています。

ファンドデータ

■ 当ファンドの組入資産の内容 (2017年12月31日現在)

■ サブファンドA

【組入ファンド】 (組入銘柄数：1 銘柄)

資産の種類	組入比率
スーパーファンド・グリーン・ゴールドSPCの株式 (クラスA) (以下「グリーン・ゴールドSPCの株式」と表記)	97.65%
現金、受取債権及びその他資産	2.35%

(注) 組入比率は純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合です。以下円グラフも同様です。



(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載されています。

■ 純資産等 (2017年12月31日現在)

項目	第9期末
純資産総額	242,823,103円
発行済口数	2,581,803口
1口当たり純資産価額	94.05円

(注1) 為替レート 1米ドル=108.70円(2018年5月31日現在)

(注2) 純資産総額及び発行済口数は、当ファンドの財務書類の記載によります。

(注3) 当期中における一部解約元本額は45,294,693円です。

サブファンドB

【組入ファンド】（組入銘柄数：1 銘柄）

資産の種類	組入比率
スーパーファンド・グリーン・ゴールドSPCの株式（クラスB） （以下「グリーン・ゴールドSPCの株式」と表記）	98.33%
現金、受取債権及びその他資産	1.67%

（注）組入比率は純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合です。以下円グラフも同様です。



（注）組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

■ 純資産等（2017年12月31日現在）

項目	第 9 期 末
純 資 産 総 額	284,717,249円
発 行 済 口 数	2,754,878口
1 口当たり純資産価額	103.35円

（注1）為替レート 1米ドル=108.70円(2018年5月31日現在)

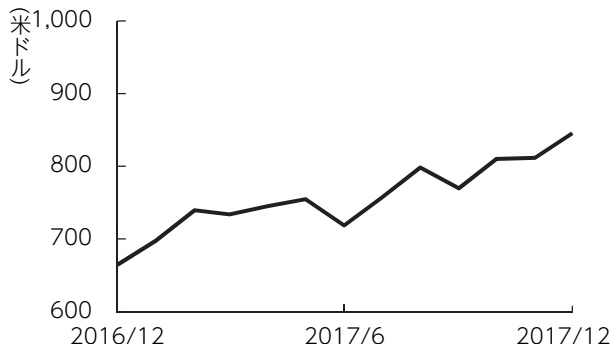
（注2）純資産総額及び発行済口数は、当ファンドの財務書類の記載によります。

（注3）当期中における一部解約元本額は27,565,549円です。

■ 投資先ファンドの概要 (2017年1月1日～2017年12月31日)

スーパーファンド・グリーン・ゴールドSPC (マスターファンド) サブファンドA

【1口当たり純資産価額の推移】



【保有銘柄情報】 (組入銘柄数: 1銘柄)

資産の種類	組入比率
スーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPCの株式 (以下「ゴールド・マスターの株式」と表記)	49.80%
現金、受取債権及びその他資産	50.20%

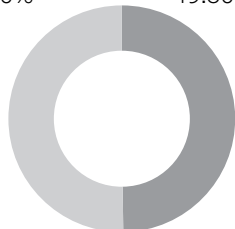
【費用の明細】 (2017年1月1日～2017年12月31日)

項目	項目の概要	
管理報酬	純資産価額の年率3.00%	
成功報酬	純資産価額の増加額のうち、サブファンドAは20%、サブファンドBは25% (但し、ハイウォーターマーク方式を適用)	
販売会社報酬	販売会社が申込を取り扱った受益証券の純資産価額の年率1.8%	
その他の費用	監査費用、保管費用、その他信託事務の処理に要する諸費用 0.52%	
事務管理報酬	事務管理及び振替代行等報酬	サブファンドAにつき年間9,600米ドル、サブファンドBにつき年間7,200米ドル
	年次報告書及び監査手配報酬	各サブファンドにつき年間400米ドル
	主たる事務所の提供報酬	マスターファンドにつき年間6,000米ドル (事務管理会社の関連会社に支払われる)
	登録事務所料	マスターファンドにつき年間1,400米ドル (事務管理会社の関連会社に支払われる)

(注) 各報酬については、当ファンドの目論見書に定められている料率を記しています。「その他の費用」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、上記期間のその他の費用の金額を投資先ファンドの上記期間末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

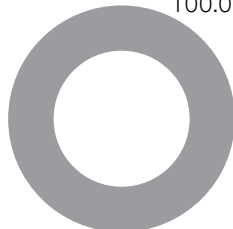
【資産別配分】

その他の資産 50.20% ゴールド・マスターの株式 49.80%



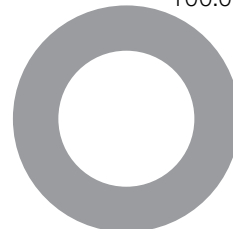
【国別配分】

ケイマン諸島 100.00%



【通貨別配分】

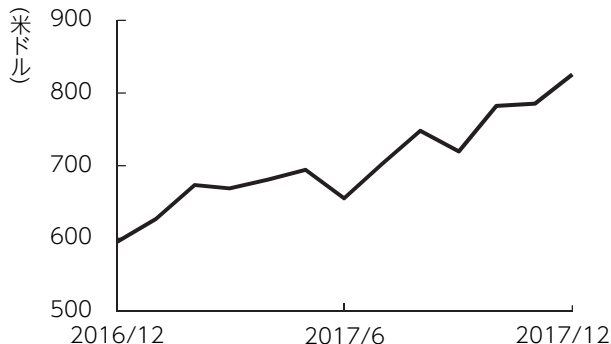
米ドル 100.00%



(2017年12月31日現在)

スーパーファンド・グリーン・ゴールドSPC (マスターファンド) サブファンドB

【1口当たり純資産価額の推移】



【保有銘柄情報】 (組入銘柄数：1銘柄)

資産の種類	組入比率
スーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPCの株式 (以下「ゴールド・マスターの株式」と表記)	75.78%
現金、受取債権及びその他資産	24.22%

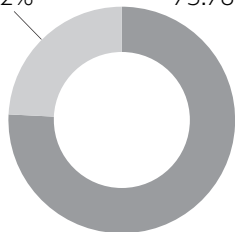
【費用の明細】 (2017年1月1日～2017年12月31日)

項目	項目の概要	
管理報酬	純資産価額の年率3.00%	
成功報酬	純資産価額の増加額のうち、サブファンドAは20%、サブファンドBは25% (但し、ハイウォーターマーク方式を適用)	
販売会社報酬	販売会社が申込を取り扱った受益証券の純資産価額の年率1.8%	
その他の費用	監査費用、保管費用、その他信託事務の処理に要する諸費用 0.60%	
事務管理報酬	事務管理及び振替代行等報酬	サブファンドAにつき年間9,600米ドル、サブファンドBにつき年間7,200米ドル
	年次報告書及び監査手配報酬	各サブファンドにつき年間400米ドル
	主たる事務所の提供報酬	マスターファンドにつき年間6,000米ドル (事務管理会社の関連会社に支払われる)
	登録事務所料	マスターファンドにつき年間1,400米ドル (事務管理会社の関連会社に支払われる)

(注) 各報酬については、当ファンドの目論見書に定められている料率を記しています。「その他の費用」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、上記期間のその他の費用の金額を投資先ファンドの上記期間末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

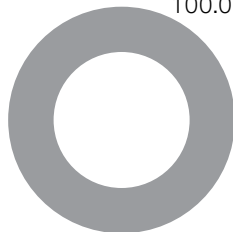
【資産別配分】

その他の資産 24.22% ゴールド・マスターの株式 75.78%



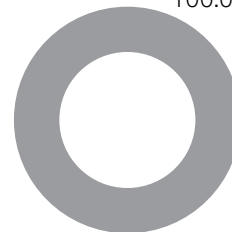
【国別配分】

ケイマン諸島 100.00%



【通貨別配分】

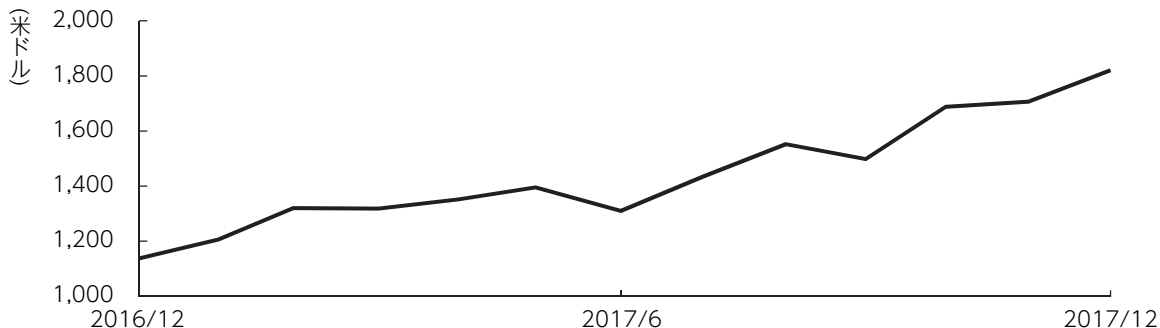
米ドル 100.00%



(2017年12月31日現在)

スーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPC (アンダーライング・マスターファンド)

【1口当たり純資産価額の推移】



【費用の明細】

(2017年1月1日～2017年12月31日)

項目	項目の概要	
事務管理報酬	事務管理及び振替代行等報酬	アンダーライング・マスターファンドの純資産価額に対し、5,000万米ドルまでについては純資産価額の0.06%、5,000万米ドル超1億米ドル以下については0.035%、1億米ドル超については0.01% (但し、最低額は年間27,500米ドル)
	年次報告書及び監査手配報酬	年間2,000米ドル
	登録事務所料	年間1,400米ドル (事務管理会社の関連会社に支払われる)
その他の費用	信託事務の処理に要する諸費用 0.56%	

(注) 各報酬については、当ファンドの目論見書に定められている料率を記しています。「その他の費用」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、上記期間のその他の費用の金額を投資先ファンドの上記期末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

【保有銘柄情報】、【資産別配分】、【国別配分】及び【通貨別配分】については、アンダーライング・マスターファンドが、世界の主要先物市場における先物を中心に運用しており、オン・バランス資産のほとんどは証拠金であり、その配分は随時変動していることから、一定の時点におけるこれらの情報を開示することに大きな意味がないため、開示しておりません。

(2017年12月31日現在)